

議会だより

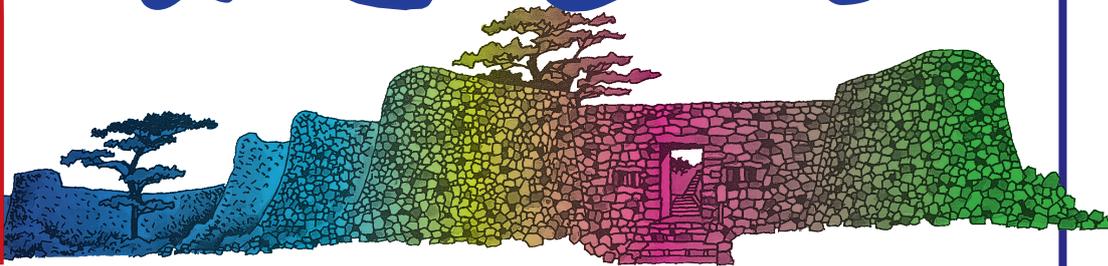


今帰仁村

なきじん

No. **150**

H30年6月1日
発行



むらの魚・ツノザメ

▲一括交付金の活用で整備された遊具で遊ぶ子供たち(村運動公園子供広場)

もくじ

一般質問と答弁	2 ~ 11 p
政務活動費	12 p
平成29年度政務活動費収支報告書	12 p
政務活動費の使い道 主な調査・研修状況	13 p
議決結果・賛否一覧表	14 p
今帰仁村初の民間保育園運営開始	15 p
編集後記	16 p

一般質問

3月定例会 会期日程(3月7日~23日)

問1 タイワンハブ対策

生態系や人間に被害を及ぼす恐れのある特定外来生物に指定されているタイワンハブ。平成28年度2月末現在の役場によるタイワンハブの捕獲駆除数が155匹となっている。字別では湧川76匹、呉我山65匹、天底10匹、謝名4匹という報告があったが、最近、平敷、



與那嶺 好和 議員

答 喜屋武治樹村長
(1)平成29年度2月末現在の各字の役場によるタイワンハブの捕獲駆除数は、

乙羽岳バンガローでも捕獲されたとのこと。確実に生息範囲は拡大している。

(1)平成29年度2月末現在の各字の捕獲数は。
(2)各字、また観光地のタイワンハブの対策はどうなっているのか。

200匹となっており、字別では、湧川が93匹、呉我山が78匹、天底が8匹、玉城区が14匹、仲宗根が1匹、謝名が1匹、平敷が4匹、仲尾次が1匹となっている。

問2 健康づくりの推進

20歳から64歳までの、働き盛りの世代において、高血圧症患者の数が増加する中、医療費は増加の一途である。医療費の抑制につい

答 村長

では、毎年実施している住民健診、特に特定健康診査の受診率を上げることが大事である。特定健康指導は、住民自身が生活習慣病の予防、改善に向けて自ら計画を立てて実行できるように支援する必要がある。

そこで各公民館に血圧計を設置し、血圧測定を行い、そのデータを保健センターに送信し、重篤化する前に保健師の指導等が受けられるような体制の整備はできないか。

健康づくりについては、村民が豊かな人生を送る基盤づくり、国保や後期高齢者医療における医療費の抑制や健全な運営の観点からも重要なことと認識し、事業を進めている。公民館を拠点とした体制整備は、健康づくりを推進する上で重要なことと考えており、その一つの方法として、議員提案の血圧計等の設置について可能か財政状況を勘案し、検討していく。

問3 Aコープ前の国道505号の安全な道路づくり

先日、事故の起きたAコープ前の道路は見通しが悪く、前にも同僚議員が危険な場所であると指摘し、カーブミラーが設置できないものかと一般質問したところである。その後カーブミラーは設置されたが、まだまだ危険な場所である。

答 村長

安全な道づくり、事故防止対策のため、村として、道路にかまぼこ型の滑りどめ舗装、中央分離帯にはポールコーンを設置する要請を県に行う考えはないか。

本村としても、交通事故防止対策は、住民の安全確保の面からも、重要と認識している。

Aコープ前国道505号の今後の安全対策については、沖縄県土木事務所に要請を行っていきたい。

問1 子育て支援の充実強化を進める

(1) 平成29年の定例会で一般質問した。改めて問う。学力向上と健康の観点から小中学校の全教室にクーラー設置が必要。設置計画は。(2) 小中学校の給食費全額が半額免除を行う考えは。(3) 今帰仁村児童生徒文学賞創設にどう取り組むか。

答 教育長

(1) 平成30年度は小学校と中学校の普通教室にクーラー設置を計画していく。(2) 経済的に就学困難な児童生徒に対し、給食費の年額分を扶助している。(3) 村児童生徒文学賞は、

子ども達の想像力、文章力を高める賞として取り組みたい。

問2 湧川運天線の県道昇格で整備促進!

湧川運天線沿線の村民は湧川運天線の整備を心待ちしている。整備促進に向け、今帰仁村・伊是名村・伊平屋村の3村で沖縄県に働きかけ、整備を促進する計画があるか。村長の見解は。

答 村長

村道湧川運天線は、村道のまま整備を行うのが事業採択に有利と沖縄県から伺っているが、今後の整備の方向性については、沖縄県と協議を行っていく。

問3 村児童館と児童公園の建設促進

県内の多くの市町村には児童館、児童公園がある。子育て支援、教育立村は今帰仁村の主要施策だ。児童館、児童公園建設を提案する。村長の計画、見解は。

答 教育長

村では児童館の計画はない。児童公園は、村運動公園内に本村の児童公園的な機能を持たせた『子ども広場』をオープンさせ、親子で楽しむことができる環境を整える。

答 村長

(1) ハブ駆除対策の予算の増額は厳しい。(2) ハブ駆除対策賃金職員採用は厳しい。(3) 県と連携し、薬剤散布、伐倒駆除に務めている。今後も高度公益松林・地区保全松林を初め、守るべきエリアを選定し、被害の拡大防止・景観保全に努める。

問5 光通信・情報インフラ整備促進

(1) 国道505号から離れている山手や海側、内陸部地域が光通信システムの整備がされてなく情報過疎地になっており、陸の孤島が現実に存在する。NTT西日本に光通信整備促進を村長が直接、陳情を行うか。

答 村長

(1) NTT西日本に村長が直接陳情、要請を行うか

については、村内の高速ブロードバンドのニーズを踏まえ判断する。

(2) 古宇利島については、沖縄県を含めた関係機関と高速ブロードバンドの実現に向け、検討を行っている。

問6 桜まつりとオープンガーデンの充実

(1) 桜まつりの入場者増対策の観点から団体の舞台出演の増加と沖永良部島の郷土芸能出演を提案する。(2) 第2回今帰仁村オープンガーデンの開催に補助金を支出する考えはあるか。

答 村長

(1) 今帰仁グスク桜まつりの各種団体出演や沖永良部島の芸能出演は、まつりの雰囲気、コンセプトを考えながら、実行委員会の意見も踏まえ検討する。

(2) 第2回今帰仁村オープンガーデン開催に向けた補助金は、今回実施の収支の状況等も踏まえ検討する。



吉田 清尊 議員

問4 タイワンハブと松くい虫対策強化!

(1) タイワンハブの生息地域が拡大している。ハブ対策の予算増額の計画は。(2) ハブ駆除専任職員で安心安全な今帰仁村づくりに取り組み考え、計画は。(3) 松くい虫対策をどう進める計画か村長の見解は。

答 村長



與那 勝治 議員

問1 施政方針重点施策 (1) 給付型奨学金の創設

今帰仁村給付型奨学金条例施行規則の特別枠を設ける意味は。

答 学校教育課長

医療や保健、福祉に関しての人材を確保したいというねらいの中で設定された。

問 特別枠で進学された方は、卒業後、本村に帰ってこないといけない条件がついているか。

答 学校教育課長

給付型奨学金を受けた奨学生が卒業後、本村へ帰ってくるよう努めるという規定ではない。

問 学生は自由な発想で全

国、世界に飛び立ってほしい。規定がないのであれば、あえて特別枠を設ける必要はないと思う。人手不足の業界は他にもあり、また、農業の担い手不足もある。他業界に対しての整合性をどのように考えているか。

答 学校教育課長

医療や保健、福祉に関しての人材育成がねらい。その他の人材について、その他2名の枠の中で選考されるものと理解している。

問 経済的理由で進学が困難になり、就職する学生もいると考えられる。いच्छ仕事に就き、その後進学したいという場合は対象内に入るか。

答 教育長

今のところ考えていない。

問 就職してはじめてわかることもたくさんある。こういう方々にも手を差し伸べる制度であってほしいと思うが。

答 教育長

1年目のスタートでまだ課題が出てくる。特別枠や今回提言頂いた課題については、今後検討させて頂きたい。

問 給付型奨学金財源について、企業版ふるさと納税も活用できるのではないかと考えるが。

答 副村長

企業版ふるさと納税について、制度上は地方再生計画をつくらなければいけない。給付型奨学金を使った村づくり等の大きな絵を描かないと、奨学金だけでは地方再生計画として通すのは難しいと思われる。

問 企業版ふるさと納税は、

寄付して頂く企業側にもメリットが大きい。企業への挨拶回りもいいが、仕組みづくりは取組むべきだ。企業周りをする前までにある程度大まかな絵を描けるかと思っているが。

答 村長

企業版ふるさと納税で給付型奨学金の安定的な財源確保をできるかという話をしながら、取り組みを具体的にできるように一生懸命取り組んでいきたい。

問1 施政方針重点施策 (2) 北部連携促進事業

本村はどのような事業メニューを出しているか。

答 村長

公共事業として、村道古宇利一周線道路改築事業、湧川団地建てかえ事業、上運天団地新築事業、非公共事業として、コミュニティバス導入事業を平成31年度採択に向けて取組んでいる。

問 パークゴルフ場の進捗

はどうなっているか。

答 村長

関係課に検討するよう指示しているが、まだ具体的なところまではいっていない。北部連携促進事業、それから一括交付金事業を活用し、実現に向けて取組んでいきたい。

問2 Aコープ前の横断歩道へ押しボタン式信号機の設置

先日、大変悔やまれる人身事故が発生してしまった。事故現場となった場所は、お年寄りや体の不自由な方々の横断も多く、また、近年は交通量も増加傾向にあり、早急に押しボタン式信号機を設置していただきたい。

答 村長

交通事故防止対策は住民の安全確保の面から重要だと認識している。今後の安全対策及び押しボタン式信号機の設置についても、沖縄県土木事務所、本部警察署に要請を行っていきたい。

問1 平成30年度施政方針を問う

コミュニティバス導入に向けた進捗状況と今後の動きは。

答 村長

平成29年度は村民や運天港利用者、伊是名・伊平屋村民の意向調査を行った。今年度は、次年度から北部連携促進事業への採択に向けて企画書の作成を計画。

を含めて、3村でさらに協力していこうということなので、村長としても事業採択されるように取り組みたい。

問 国民健康保険事業の財政健全化対策は。

答 村長

村民の健康づくりをはじめ、保険事業の推進、保険者努力者支援への取り組み、適正な保険税の決定、医療費の適正化、収納率の向上等。依然として厳しい財政状況が見込まれることから、内部努力や一般会計からの財政支援繰り入れをはじめ、歳入不足への対応の検討を行うとともに、国や関係機関等へも要請を

行っていきたい。

問 本村の保険料の負担率は県内で3番目、医療費も9番目に高いというデータがある。医療費の抑制が国保の安定につながると思うが。

答 福祉保健課長

健診の受診率を上げたり、保健指導を通して病気の予防、早期発見につなげて医療費を抑制する。

たい。

道の推進、大会派遣費の補助を行っている。健康増進については毎月第一日曜日のウォーキング大会やパークゴルフ、総合運動公園の管理委託業務としてシニア体力アップ、水泳教室等を行っている。

問2 村内路線バスの停留所

村内の路線バスの停留所には雨除けや風よけの対策が施されていないバス停留所が相当数ある。日頃から路線バスを利用して高齢者や学生等から困っているとの声が寄せられているが、村として何らかの対策ができないか。

答 村長

村内には本部半島線のバス停留所が22か所ある。そのうち上屋があるバス停留所は6か所。上屋の設置についてはバス利用者の利便性向上が期待できることから、沖縄バス協会及びバス運送事業者に要請していき



與那嶺 透 議員

答 村長

今後いろんな観光施策

問 80%近くの方々から必要性があるとアンケート結果が出ている。村長の見解は。

答 教育長

総合運動公園施設を有効活用し、県内外からの誘客を図りたい。村民スポーツの振興については村体育協会やナスクと連携しながら各種競技活動や競技大会の推進、児童生徒等の部活



▲北山高等学校前停留所

その他の質問
一、海岸漂着物(油状漂着物)等の対策。





島袋 誠 議員

問1 新庁舎建設プロジェクト

プロジェクトチームを充足し、新庁舎建設に関する住民アンケートも実施しているが村としてのイメージは。

答 総務課長

庁舎建設に当たった素案、基本的な方針を職員と一緒に考えて作っていく。

答 村長

新年度作成中の庁舎建設基本方針案を平成30年度早い段階で公表し、パブリックコメントを行い、村庁舎建設委員会で審議いただきながら進めていく予定。
平成30年度は庁舎建設基本方針に基づき基本設計を進めていく。

問 プロジェクトチームとしての役割は。

問2 観光振興

村としてのインバウンド施策は。

答 中原茂仁 副村長

アンケートの中で場所についてどこが良いかというところも、村民の皆様からも回答をいただいております。それも踏まえ、最終的に決めていこうと考えています。

答 村長

第三次今帰仁村観光リゾート振興計画の策定を計画しており、観光情勢の現状把握・課題分析等を行う中、インバウンド施策についても同計画へ盛り込んでいく。

問 今後、本部港にクルーズ船が2年後、88回の寄港があるということは、決まっているが、それをどうにか今帰仁村で周遊していただけないかと思っているが、村当局としての考えはあるか。

答 経済課長

単体の市町村での対応というのはかなり難しいものがあると考えている。やはり広域的に考えていく必要があると思うので、今後、広域的な考えを持つために広域事務組合のほうにも調整を要望していきたい。

問3 林業の振興

乙羽岳森林公園の活用、運営は。

答 村長

現在、指定管理者制度を活用し管理を行っている状況であるが、平成30年度は直営の形で運営を行っている。利用者に森林公園の自然を満喫していただけるよう、またリピーターとして再度利用いただけるよう取り組んでいく。

問 現在指定管理をやっているところが、遊歩道の整備など積極的にを行い、以前まで通れなかった遊歩道も

通れるようになっていっていると思うが、そこも継続して行っていくのか。

答 経済課長

長いこと遊歩道が歩けない状態であったが、指定管理者のナスクが、非常に頑張っていたので、今は遊歩道が歩ける状態になっている。これをまた放置しておくとは再度通れなくなるので、定期的に管理させていただきます。





與儀 常次 議員

問1 今帰仁村の学校支援員

学校支援員は何人か。また、学校支援員については、どのような考えで進めているか。

答 教育長

各学校に配置している支援員は、児童生徒の生活的サポートを行う支援員と、学習のサポートを行う学習支援員がいる。平成29年度において支援員の配置人数は天底幼稚園に1名、今帰仁小学校に3名、天底小学校に1名、今帰仁中学校に1名の計6名。学習支援員は各小学校に1名と中学校に1名で計4名となっている。支援員及び学習支援員の

支援員及び学習支援員の

配置については、一括交付金の教育環境充実事業として実施している。

今後も同事業を活用し対応していく。

問2 今帰仁村制施行110周年

(1) ことしは今帰仁村制施行110周年節目の年だが、村史改訂版の発行について、どのように考えているか。

(2) 110周年のイベント等の行事を何か考えているのか。

答 村長

(1) 村史改訂または続編の編集・発行については、平成29年第3回定例議会にお

いて村史編集委員会を設置し、検討していくと答弁しており、村政施行110周年事業とあわせて設置に向けて取り組んでいきたい。(2) さまざまな分野で、村の発展に寄与している方々の顕彰事業や記念式典、祝賀会等を予定している。

問3 コミュニティバスの導入

コミュニティバスの導入アンケート調査の結果、今後どのように進めていくか。

答 村長

コミュニティバス導入アンケートの、結果については、回答者の約8割からコミュニティバス利用意向や必要性について前向きな意見があった。平成30年度は、平成31年度からの北部連携促進事業の採択に向けて計画書の作成を計画している。

平成30年6月定例会傍聴へ行こう！

平成30年6月14日(木)～22日(金)までの会期予定です。

一般質問日程は18日(月)・19日(火)・20日(水)の予定ですが、

詳細については事務局までお問い合わせください。

～あなたが選んだ代表がどのような活動をしているか村議会を傍聴してみませんか？皆様の傍聴をお待ちしております～





玉城 みちよ 議員

問1
空き家等対策

長期にわたり、倒壊等危険と思われる放置空き家や利活用等の適切な管理を促すため、2015年「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が施行された。市町村の責務として対策計画の作成などが明記されているが、空き家等の問題に対する本村の見解と近隣市町村の行政の取り組みと条例制定の必要性は。

答
村長

今帰仁村における空き家は、増加しており、その要因は、空き家所有者の高齢化や若者・子育て世帯の村外流出にある。平成30年は、空き家を有効活用し、地域

活性化を図るため、空き家等実態調査を実施する。名護市、本部町、大宜味村、伊是名村においては、空き家の有効活用と移住や観光とマッチングさせた事業が展開されている。

村内の空き家の適正管理等のため条例の制定は、必要であり、空き家等対策計画策定と併せて行うことを検討する。

問 2015年「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が施行され今口まで、

本村において、倒壊の危険性や衛生面、防犯面、景観の面など、村民から苦情や対策について寄せられた意見があるのか。

答
総務課長

ゴミ等の放置や不法投棄などの苦情や屋敷内の木々の伐採等についての苦情があった。

問 空き家等の実態調査を進めるにあたり、所有者が明確な空き家、又は所有者が亡くなり、相続されていない場合の空き家、相続問題・税金など、又、防犯防災性の低下や衛生の悪化など多様な課題点が想定されますが、想定される庁舎内の関係課の連携は。

答
総務課長

空き家対策協議会を立ち上げ、計画、策定実態調査等について、庁内の関係部署と情報の交換を進めて行く。

問2
行政のワンストップサービス導入

命の最期を看取った後の遺族の行政手続きについては、死亡届・年金・国民健

康保険・介護保険など多様な手続きに遺族が苦慮されている。今後、庁舎でのワンストップサービスへの導入の考えはないか。

答
村長

村民目線に立ち、効果的・効率的に窓口サービスを提供するため、現在の庁舎における課題の整理を行い、できることから取り組む。特に死亡後の手続きについては、遺族に配慮したワンストップサービスの在り方を工夫していく。

問3
環境行政

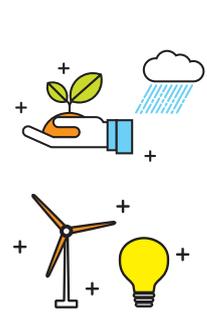
2016年より、本村ではゴミ袋の有料化がスタートしたが、ゴミの減量化の状況は。

答
村長

小学校4年生を対象に本部町今帰仁村清掃施設組合で施設見学が行われ、又、一般社団法人産業環境管理協会から無料提供の環境教材を各小学校に配布している。エコステーションについては、資源ゴミの収集拡大を目的としたものや、ゴミを減らす「3R」を推進することを目的としたものなど、いずれもゴミ減量化が図れるものと考えられるが、現在のところ村独自で設置するのは厳しい。

答
村長

家庭ゴミ有料化実施前の平成27年度が燃えるゴミ排出量2011トンに対し、実施後の平成28年度は、1796トンで215トン



その他の質問
一、運天港を拠点とした更なる活用について

問1
村長施政方針



座間味 薫 議員

昨年「とびだせ村長室」実施要領を制定したとあるが、内容と現在までに何度開催されたのか。

答
村長

「とびだせ村長室」については、平成29年10月1日に施行し、村広報誌11月号、村ホームページ、村区長会において実施要領の周知を図っている。

現在まで開催の応募がなく、開催には至っていない。

問 とびだせ村長室については、村長就任前の公約にも掲げられ、今回の施政方針の前提にも掲載されていることから、全身全霊を

傾けていくという村長の強い思いのある施策だと思いが、周知して4ヶ月、一件も応募がないということは実施要領のわかりづらさがあるのではないか。

答
村長

一回の開催もないということは、内容のわかりにくさがあるんじゃないかという事だが、指摘の通りだと思う。

答
総務課長

次年度以降に向けては、地域と膝を交えながら担当課長も同席し、細かい内容まで話し合いができる場だと思おうので、積極的に呼びかけをしていきたい。

問 児童生徒も対象になっているが、わかりやすいものにして出すべきではないか、子どもたちにはどのように周知されるのか。

答
総務課長

要領のあり方については、再度検討させていたいただきたい。周知については、学校、教育委員会も含めて協議の上、効果的な方法を考えていきたい。

問2
観光振興

平成29年度の今帰仁グスク桜まつりが初めて5万人を突破したとあるがその要因は。

答
村長

本年の第11回今帰仁グスク桜まつりが、例年より一日長い17日間での開催であったこと、期間中の各種イベント内容に加え、開花のタイミングも良好であったことから、過去最高の集客につながったと考えている。

問3
観光周遊自転車 ネットワーク整備

県の21世紀ビジョン基本計画において、観光周遊自転車ネットワークの整備が上位計画に位置付けられているが、村の取り組みは。

答
村長

村の取り組みとしては、古宇利一周線道路改築事業において、車道部の両側に自転車レーンの幅員も含めた幅員構成で計画書を提出し、事業実施を行っている。

問 名護市のような自転車専用通行帯ができる予定なのか。

答
建設課長

車道部が3m、自転車レーンが1.5m、両サイドを計画して実施設計を行っている。

問 北部12市町村でやんばるサイクルロードの整備に向けて方針を立てられていると思うが進捗状況は。

答
建設課長

今帰仁村としても2月23日から3月9日まで、パブリックコメントを行い一件の要望、計画書を提出している。



▲自転車専用通行帯(名護市)



上原 祐希 議員

問1 施政方針

2020年供用開始の本
部港クルーズ船寄港で、初
年度88回32万人が来沖予定
だが、村のメリット、デメ
リットの見解は。

答 経済課長

平成33年度ということ
喫緊の課題になる。北部振
興会の事業中で積極的に取
り組まれていくものと考え
ている。

答 経済課長

活性化含め観光振興にな
るが、交通事故、ごみ問題
など懸念される。

問 本部港で一度クルーズ
船を受け入れているが、名
護市の大型商業施設に流
れ、地元での経済効果は上
がらなかったと聞く。その
辺を産学官連携、北部広域
でどう対策をとっていく
か。

答 経済課長

今帰仁村も自然体験プ
ログラムは非常に売りにな
る。

問 クルーズ船のオプショ
ナルツアーの中に盛り込む
事でより確実性が高まると
思うが。

クルーズ船のオプショ
ナルツアーの中に盛り込む
事でより確実性が高まると
思うが。

答 経済課長

観光の戦略として積極的
に取り組んでいくべきと考
える。

問 デメリットとして、本
部町備瀬では、観光客が庭
に勝手に入り撮影するなど
問題も出ている。対策は。

答 経済課長

住民含めた話し合い、周
知等も観光協会を通して、
観光事業者等を含めて行っ
ていく。

問 北部3村が世界自然遺
産登録に向けた動きの中
で、観光客流入制限、人数
把握しようとして、認定ガイ
ド制を検討している。村も、
自然環境を保持していく為
に、観光協会、事業者と連
携しながら体制作りが必要
ではないか。

北部3村が世界自然遺
産登録に向けた動きの中
で、観光客流入制限、人数
把握しようとして、認定ガイ
ド制を検討している。村も、
自然環境を保持していく為
に、観光協会、事業者と連
携しながら体制作りが必要
ではないか。

答 村長

観光協会、商工会と連
携しながら検討していき
たい。

問 観光振興は自然に入る
事もあり自然破壊に繋がる
事もある。事業者と連携し、
ツアー料金に環境税的なも
のを付加し、自然環境保全
に繋がらないか。また、
植林等、エコツアーなど出
来ないか。

答 経済課長

環境税などの方法を現在
持ち合わせていないが、東
村が植林等先進的活動をし
ているので調査する。

問 空き家改修など行う際、
自治体負担も出てくる。そ
こで地域再生計画を策定
し、企業版ふるさと納税を
活用出来ないか。

空き家改修など行う際、
自治体負担も出てくる。そ
こで地域再生計画を策定
し、企業版ふるさと納税を
活用出来ないか。

答 総務課長

企業版ふるさと納税につ
いて、平成30年度に行う事
業を通して、企業の賛同が
あれば可能。

問 サテライトオフィスや
空き店舗活用なども取り組
むか。

サテライトオフィスや
空き店舗活用なども取り組
むか。

答 総務課長

空き家を管理する協議会
の中で検討する。

問 農産物の規格外等、冷
凍冷蔵施設を活用し、加工
品開発などやるべきでは。

答 経済課長

6次産業化、商品開発は
非常に有効な手段だと考え
る。

問2 インフルエンザ予
防接種助成

インフルエンザの流行に
より、村内小学校では学校
閉鎖まで起こった。65歳以
上に実施しているインフル
エンザ予防接種を全村民を
対象に出来ないか。

答 村長

対象者の拡大や、自己負
担の軽減を検討していく。



問1 自動車運転免許取得支援

生活環境にハンディのある村民への支援をどのように考えているか。

答 村長

村では生活環境にハンディのある方、日常生活において経済的に困窮している方を対象とした自動車運転免許取得への支援はない。

現在村在住で身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が1級から4級までの方や療育手帳の交付を受けた方で、自動車免許取得を希望する方に助成を行っている。生活困窮者の自立に向け、自動車運転免許取得への支援を含め、貸

付や必要な相談支援を行う体制づくりについて検討していく。

問 具体的な支援策は。

答 福祉保健課長

生活困窮者の皆さんに対しての相談支援も含め、県でも生活困窮者自立支援法に基づく制度を活用して、各北部、中部、南部圏域でパーソナルサポートセンターを立ち上げて、相談支援に大きな力をかしている。ただいているが、村でも相談があれば社協の制度の活用を含めて、パーソナルサポートセンターにつなぐ方向で支援をしている。

問 北部では名護自動車学



丸山 山城太

山城 太 議員

校、今帰仁自動車学校があるが、その事業所で年間4名くらい、2分の1ほどの支援をしているらしいが、その充実について各所と連携を図りながら進めていく計画は。

答 福祉保健課長

各機関がどのような制度を行っているのかも含めて、十分にアンテナを張り巡らせ、連携を取りながらまた相談支援に資する体制をとりたい。

問2 苺生産出荷施設

管理運営状況、今後の管理運営は。

答 村長

管理運営については、第1苺生産出荷施設を今帰仁きのこ園、第2苺生産出荷施設をマッシュファームなきじんと契約し、毎年度期間を更新する形で、運営が継続されている。

毎年度各出荷施設の管理

運営状況について運営協議会が開催され、その中で生産出荷状況、施設の稼働状況等について報告を受けている。

今後も、施設管理の状況、生産状況、収支状況等の各報告を踏まえ、運営協議会の中で確認及び協議していく。

問 第1、第2施設の契約書の統一化はなされているか。

今、現在統一化はされていない。

答 経済課長

社会通念上の常識からすれば第1施設、第2施設の契約書は同じでないといけないと解しているが、両施設は、同程度規模の施設であるにもかかわらず使用料に差が生じている。これまでも「契約書について調整する、統一する。」という答弁をなされてきた。

雇用があるのは確かにいいことであるが、その点に

ついでどのように考えているのか。

答 経済課長

現在の状況としては、弁護士と契約書の内容について、中身を確認しつつ、この件について総合事務局と相談も行っており、今後の調整に向け、今準備を進めている。

その他の質問

- 一、個人財産の権利、保障等について
- 一、グスク桜まつりについて
- 一、教育行政について
- 一、村民の浜の管理について



政務活動費

《政務活動費》 政務活動費は、地方自治法100条14項～16項の規定及び今帰仁村議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、議員の村政に関する調査研究に資するため必要な経費の一部として交付されるものです。

※交付額・・・1人当たり年間120,000円(月額10,000円×12ヶ月)

※交付方法・・・年2回(前期6ヶ月分/4月・5月・6月・7月・8月・9月)(後期6ヶ月分/10月・11月・12月・1月・2月・3月)

※返還・・・交付総額から支出の総額を控除し残余がある場合は返還になります。

交付対象となる経費

調査研究費	研修費	広報・広聴費	要請陳情等活動費	会議費
議員が行う村の事務、地方行財政等に関する調査研究(視察を含む。)及び調査委託に要する経費	1 議員が行う研修会、講演会等の実施(共同開催を含む。)に要する経費 2 団体等が開催する研修会(視察含む)、講演会等への議員及び議員の雇用する職員の参加に要する経費	議員が行う活動の広報・広聴活動に要する経費	議員が行う要請陳情活動、住民相談等の活動に要する経費	1 議員が行う各種会議、住民相談会等に要する経費 2 団体等が開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費

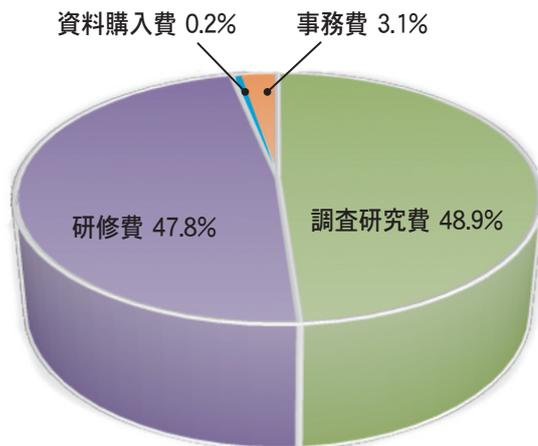
資料作成費	資料購入費	事務所費	事務費	人件費
議員が行う活動に必要な資料を作成するために要する経費	議員が行う活動のために必要な図書、資料等の購入、利用等に要する経費	議員が行う活動のために必要な事務所の設置及び管理に要する経費	議員が行う活動に係る事務の遂行に要する経費	議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費

平成29年度 政務活動費収支報告書

氏名	交付総額	使 途											残余費
		調査研究費	研修費	広報広聴費	要請陳情等活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	事務所費	事務費	人件費	合計	
東恩納寛政	120,000	74,930							24,786		99,716	20,284	
吉田 清尊	120,000	79,500									79,500	40,500	
玉城みちよ	120,000		56,592								56,592	63,408	
與那嶺 透	120,000		119,368					1,847			121,215	0	
與那 勝治	120,000		114,740								114,740	5,260	
座間味 薫	120,000	74,930									74,930	45,070	
上原 祐希	120,000	80,150	40,268								120,418	0	
島袋 誠	120,000	75,170	45,030								120,200	0	
與那嶺好和	120,000										0	120,000	
山城 太	120,000										0	120,000	
與儀 常次	-										-	0	
計	1,200,000	384,680	375,998	0	0	0	0	1,847	0	24,786	0	787,311	414,522

平成29年度 政務活動費の使い道

調査研究費	384,680	48.9
研修費	375,998	47.8
広報・広聴費	0	0.0
要請陳情等活動費	0	0.0
会議費	0	0.0
資料作成費	0	0.0
資料購入費	1,847	0.2
事務所費	0	0.0
事務費	24,786	3.1
人件費	0	0.0
計	787,311	100.0



主な調査・研修状況 (期日順)

議員名	場所	期日	目的
玉城 みちよ	滋賀県大津市	5月15日～19日	市町村議会議員研修 (新人議員のための地方自治基本コース)
與那 勝治	東京都	8月9日	地方議員研修会の受講 講師：広瀬和彦 ・効果的な予算決算審査を考える ・議員が守るべき政治倫理とは
東恩納 寛政	宮城県仙台市	9月6～8日	第11回全国和牛能力共進会、(5年に一度の和牛オリンピック「日本一決定戦」)が開催される宮城県仙台市での開催を視察し将来の沖縄県大会を見据えて、沖縄県及び今帰仁村の畜産振興の考察研究
座間味 薫	宮城県仙台市	9月6～8日	9月7日の復興特別出品区「高校の部」と和牛審査協議会を視察し、全国規模の共進会を視察研修し今後の村の畜産振興の発展へとつながる参考事例の模索
吉田 清尊	宮城県仙台市	9月9～11日	5年に一度開催される全国和牛能力共進会の全国各地で改良された和牛のすばらしさを目で見て確認するとともに、日本一を目指す出品牛の戦いを目の当たりにすることで今後の今帰仁村の和牛の経済形質向上の参考にするため。
島袋 誠	宮城県仙台市	9月6～8日	5年に一度全国から選ばれた和牛が一堂に会し、その優秀性を競い合う全国大会。第11回目となる宮城大会は全国から39万人の来場が予想される。来場者に対して宮城の魅力ある食・観光文化などのPR方法の考察。
	滋賀県大津市	H30年1月18日～19日	自治体財政の見方 平成21年度より施工されている「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率を掘り下げて学ぶため。
上原 祐希	宮城県仙台市	9月6～9日	5年に一度の全国和牛能力共進会を考察し、10年後の沖縄県大会招致の可能性を探ると共に、畜産の盛んな本村において活用できる技術や情報を得る。
	滋賀県大津市	H30年1月18日～19日	自治体財政の見方 財政状況資料集を活用し、決算審査等を学ぶことにより、自治体の財政運営の現状を把握する。
與那 嶺 透	東京都	H30年1月26日～27日	国の動きと制度の基礎的解説講座 ・地方財政(歳入・歳出) ・子どもの貧困問題 ・教育予算の基礎

今帰仁村初の民間保育園運営開始 2018年4月1日開園

本村の公立保育所民営化に伴い、民間法人2園による新規保育園舎が2018年3月に完成しました。

社会福祉法人 温和会 まほろば保育園

平成29年公立保育所の民設民営化により、その運営を当法人が引き継ぎ、この度、「保育所整備事業費」として国及び村の補助を受けて、新園舎創設の運びとなりました。

旧兼次中学校の運動場で、千坪の広大な緑なる芝生が生い

茂り、何万の赤とんぼが飛んでいるのを目にしたときに「ああ！なんて美しい場所！この素晴らしい自然の中で保育がしたい！」あの時の感動は今でも忘れません。美しい場所。住みよい場所、“まほろば保育園”を命名した由縁です。

平成30年4月から、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が施行されています。

それに伴い日本の教育は、大きく変わってきます。これまでの「認知能力(知能指数)を高める教育」から「非認知能力(心の知能指数)を高める教育」が変わってきます。その観点からも素晴らしい環境の中で豊かな感性と高度な感覚を培ってほしい！という希望のこなった新園舎『まほろば保育園』を創設し、4月1日より園生活がスタートしました。

保護者、地域、行政との絆を大切に「愛のまほろばの空間で心豊かに育つ」を保育理念に邁進していく所存であります。



▲まほろば保育園(兼次小学校区)

社会福祉法人 なちじんむい あめそこ保育園

今帰仁村の自然、歴史、人との関係性から培われる保育環境は、この村の未来を築くかけがえのない土壌になると信じます。私たち「あめそこ保育園」は、地域との共生が織りなす保育文化を創造し、今帰仁村の文化的成熟の一助になりたいと考えます。

教育するということを再考していく。乳幼児期に必要なこと、それはきっと基準の定まった課題をクリアしていくのではなく、子どもたち自らが問いを発見する喜びに尽きるのではないかと考えます。結果や成果を数値化するのではなく、非認知能力として生きる力を涵養すること。させる、与えるではなく引き出すために必要な素材の選定。子供たちにとって「うわーなんだろう！」と目を輝かせる体験の連続。自ら選び考えることに喜びを見つけた精神は、知性を健全に発展させ、将来において社会で活躍する力に繋がると信じます。

私たちは、育ちの豊かさとは何かということを常に問い続け、保護者や地域と連携し、子どもたちの自己肯定感、愛着形成を健やかに育む保育実践を発信し続けたい。

子どもと大人が主体的に学び合い育ち合い響き合う環境から「文化的多様性」が醸成され続けますように。「なちじんむい」という場所から始まるワクワクすることを、ここに集う人たちのじんぶん^{みんぶん}で思い描き、子どもたちの笑顔に寄り添う法人としてこれから歩んでまいります。



▲あめそこ保育所(天底小学校区)

大会宣言

沖縄県北部地域は、離島三村を含む 12 市町村で構成しており、沖縄県総面積の 4 割を占め、県内最大の地域を構成している。このように離島や遠隔地を抱え、医療や交通面などで中南部都市圏との格差が進む中、住民は広い地域に散在して生活を営んでおり、安心・安全の確保が、定住促進における喫緊の課題である。

本地域において道路交通以外の交通手段は無く、地域高規格道路の整備や交通ネットワーク機能を確立していくための道路整備は、住民福祉の向上や産業振興を図る上で根幹をなすものである。特に救急搬送等において救命率向上に向けた医療の確保、災害時の対応など、道路整備は必要不可欠である。

さらに、離島は我が国の領空、領海、排他的経済水域等の保全、海洋資源の開発利用、自然環境の保全等の面でその果たす国家的役割は一層重要になっており、離島架橋による振興発展は大きな意義を持つ。よって、北部 12 市町村「やんばるはひとつ」、一体となって命と暮らしを守る道づくりの推進に果敢に行動していくことを誓う。

以上宣言する。

平成 30 年 5 月 2 日

北部地域の道路網の整備促進並びに離島架橋の早期実現に向けた決起大会



▲今年、北部市町村会長に就任した当真淳宜野座村長が大会決議を満場の聴衆に熱心に訴えた。

近年、離島である伊平屋、伊是名村においては年々人口が減少し高齢化が進み、教育、医療、福祉等、離島という地理的条件による格差は依然として大きく、尚一層の定住環境の整備が求められている。
特に陸・海・空路の交通ネットワークの確立は最優先課題であり、沖縄本島との格差を縮小するとともに離島の隔絶性や狭小性を緩和し、地域振興を図らなければならない。



さらに、離島は我が国の領空、排他的経済水域等の保全海洋資源の開発利用、自然環境の保全等の面でその果たす国家的役割は一層重要になっている。
このような現状と重要性を踏まえ、離島振興なくして、北部地域の発展はない。持続的な均衡ある地域づくりを図る観点から、伊平屋、伊是名村の地方創生を促進し、生活の安定と福祉の向上を確保するために、北部振興会・北部市町村会・北部市町村議会議長会は平成 29 年 5 月 11 日に北部会館において約 150 名の参加者で「伊平屋・伊是名間の離島架橋の早期実現化に関する要請決起大会」を開催した。
以上の観点から、「北部振興会・北部市町村会・名護東道路整備促進期成会」が主催となって、平成 30 年 5 月 2 日に主催団体、今帰仁村議会議員全員を含む北部地区各種 21 団体に呼びかけ、名護市民会館中ホールにおいて約 320 名の参加

者が結集し、上記の「大会宣言」及び「決議」さらに「特別決議 2 件」を高らかに読み上げ、「宣言文」等を要請者（北部振興会長・北部市町村会正副会長）が平成 30 年 5 月 17 日に内閣府、国土交通省、県選出国會議員各々へ手交し、強く要請した。

編集後記

◆平成 26 年に初当選をさせていただき早 4 年。先輩議員に負けじと、同僚議員と共に議員研修を積極的に受講し、そこで得た知識を自分なりにアレンジしながら議会にぶつけて実践する。仮説と検証を繰り返しながら理論をブラッシュアップし、また研修を受ける。その繰り返し。執行機関のプロト対等に議論するためには、議員は学習することが重要な政治活動となる。これからもより良い今帰仁村を目指し、資質向上に励みたい。

広報委員 與那 勝治